



## 【特別支援学校のセンター的機能】

### ～しろがね分校による地域支援～

しろがね分校では専門アドバイザーが中心となり、前橋市・玉村町・渋川市・吉岡町・榛東村の小校学・中学校・幼稚園・保育園を訪問したり、保護者に来校していただいたりして、発達の気になる子供達についての継続的な支援を行っています。

### 5月24日現在の相談依頼の件数(外部支援)

対象	幼稚園・保育園	小学校	中学校	その他	計
件数	39件	11件	1件	9件	60件

(その他は保護者や関係機関からの相談)

### 専門アドバイザーの仕事を紹介します。



小学校2年生の通常学級です。

担任の先生から、気になる生徒として挙げられていたのは、教室の一番前の席に座っている体の大きな男の子です。

発達障がいの診断はありません。どこにでもいる愛らしい男の子A君です。

相談内容は「学力不振、集中力がない、整理整頓が下手」というものでした。A君のような子どもはどのクラスにもいませんか。別に特別ではないのです。

担任の先生はベテランの先生で、学級経営が上手です。20分休みが終わり、外でたくさん遊んだA君は4月にもかかわらず、汗をかきながら教室に戻ってきました。

国語の授業です。日直の号令の前には、教科書とノートを出しておくクラスのルールになっているので、A君は急いで机の中から出します。でも、ノートが見つからないのです。A君の席は教卓の前なので、先生はさっと国語のノートを見つけてあげます。

号令が終わり、漢字スキルの学習です。「スキルの8番をやってください」と全体に指示した後、すかさず、A君に「8番ですよ」と声かけます。

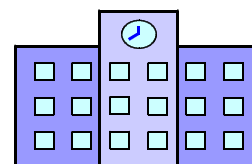
皆が書き始めましたが、下敷きを使っていない児童がたくさんいます。そこで、先生は「下

敷きを使うのですよ」と全体に向かって指示しました。すると、A君は「下敷き、しました」と嬉しそうに返事をしているのです。先生は「じゃあ、書きましょう」と淡々と答えていました。漢字スキルは見本の漢字を写すほかに、簡単なクイズがあります。その場面ではA君は友達の答えを見て書き写していましたが、それを見た先生は、「テストではないので、お友達の答えを見ても良いのですよ」とクラス全体に話していました。A君は友達の答えを写しながら、「先生、僕、がんばる」と言っていました。すると先生は「えらいね。A君、そういう気持ちが大事なんだよ」と褒めていました。

いろいろなクラスを観察すると、A君のように配慮の必要な子はたくさんいます。でも、この先生のように、通常学級の中での個別の配慮を当たり前のようにやっている先生はそれほど多くはありません。

このA君から「僕、頑張る」という言葉を聞けるといのは、A君にとってこのクラスはとても居心地の良いクラスなのでしょう。

A君にとっての親切な指導は、学力不振や不注意傾向のある他児にとっても良い指導です。クラスには気になる子が数名います。A君にわかるように指示を短く行い、指示したら必ず確認する支援は、他児にも分かりやすく、また、他児が隣の子に「ノート見せて」と言っても嫌がる友達は誰もいない、温かいものでした。



とてもよい授業だったので、紹介しました。

ちなみに、実際の先生の相談は、A君の力を伸ばすためにもっとできることはあるかという相談でした。具体的にはA君は読みが苦手なので、最初に教師が文章を読んで意味を理解させることや文章を作るときには、イメージマップのように関連する単語を書き出してから順番をつけて書くことなどを提案しました。

小・中学校の先生方、保育園・幼稚園の先生方、気になる子がいる、あるいは、もっと良い指導法をお探でしたら、気軽にご連絡下さい。障害の有無に関係なく、専門アドバイザーが定期的に訪問いたします。一度、試してみませんか。



また、今年度より、文部科学省のモデル事業による、理学療法士・作業療法士言語聴覚士の同行訪問も行っております。姿勢がおかしい・不器用である・言葉が不明瞭・食べ方が気になる等の相談がありましたら、遠慮なくお知らせください。

群馬県立渡良瀬養護学校しろがね分校

専門アドバイザー 尾岸純子

電話 027-268-6111

FAX 027-268-6113